



ドキュメンタリー映画

「アトミック・ママ」上映会 岡田恵美子さん&シルヴィア監督のお話

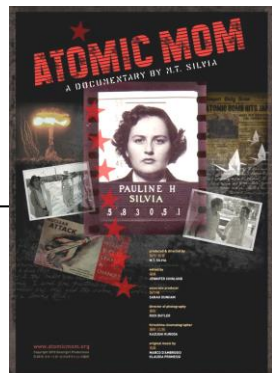
被爆体験証言者

日時：2015年8月7日（金） 開場 18：00 開始 18：15～21：00

場所：合人社ウエンティひと・まちフラザ（広島市まちづくり市民交流フラザ）
6階マルチメディアスタジオ（広島市中区袋町6-36）

入場料：上映協賛金 500円 定員：100名（申込不要）

内容 ☆ 映画上映（87分）＊日本語字幕あり
☆ 岡田恵美子さんとM. T.シルヴィア監督のお話（通訳有）



＜「アトミック・ママ」とは＞

原爆により人生を左右された日米二人の女性を軸とするドキュメンタリー映画。
一人は第二次大戦後、科学者として核開発に携わったパウリーン・シルヴィアさん。
そしてもう一人は広島で被爆した岡田恵美子さん。

ネバダで行われた核実験に赴き、簡単な装備で数回に渡ってキノコ雲を見たこと、海軍で放射線による熱傷研究をして動物が死ぬまで克明に観察したことなどの経験からパウリーンは何十年を経た今も良心の呵責に苛まれていた。しかし、軍の機密であり命令であることから、50年近くも核開発をしていたという沈黙を守ってきた。パウリーンが79歳にして初めて、娘のM.T.シルヴィア（この映画の監督）に語った過去とは一。原爆の犠牲者となった岡田さんとの交流とは一。

＜「アトミック・ママ」を推薦します＞

アトミックママは、われわれの日常生活からかけ離れ、難しいと考えがちな「核」という問題を、家族という枠組みを通して身近な存在感をもたらし、自分の問題として考えさせてくれます。この映画を観て、核と家族の問題、自分自身がどのように核と向き合うべきかがより深く理解できるようになり、M.T.シルヴィア監督に感謝します。（ピースプラットフォーム代表 スティーブン・リーパー）

【主催】 被爆体験を継承する会 代表 福田美知子

【後援】 広島市、公益財団法人広島平和文化センター
中国新聞社、公益財団法人広島市文化財団
広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）
公益財団法人広島県男女共同参画財団（エソール広島）

【問合せ】（事務局）090-8194-0605、090-6430-8110